漢検5級 頻出漢字学習ポスター

試験を分析し、この級でよく出る漢字ベスト40をまとめました。実際に出題された問題もわかるので、解答とセットにしてまとめて確認しておきましょう。

高橋書店

表の見方

1 補 89.2%

- 頻出漢字
- 過去10年間の出題率
- チェックボックス：覚えた問題はチェックをつけよう。
- 出題形式：出題される試験分野です。アイコンの見方は表の左下にあります。
- 頻出問題：試験で実際に出題された問題です。右から頻出度順に並べています。
- 問題の答え

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
補	郷	敬	裏	段	刻	幼	筋	難	厳	閉	奮	激	困	除	若	縦	装	映	延	染	値	乱	傷	勤	善	窓	奏	展	模	胸	異	割	宅	源	垂
89.2%	87.7%	85.4%	83.8%	81.5%	80.8%	80.8%	79.2%	78.5%	78.5%	77.7%	76.9%	76.9%	76.9%	76.2%	76.2%	75.4%	75.4%	75.4%	74.6%	74.6%	74.6%	74.6%	74.6%	73.8%	73.8%	73.8%	73.8%	73.1%	73.1%	73.1%	73.1%	72.3%	71.5%	71.5%	71.5%
送 書 四	送 書 四	熟 書	音 対	類 音 対	送 書 読	送 読 書	音 書 読	熟 送 対	送 書 読	熟 送 読	読 書 対	送 読 熟	書 熟 読	四 対 類	熟 書 読	対 音 熟	書 同 読	書 読 同	書 読 書	送 読 書	熟 類 熟	送 書 対	音 読 熟	同 熟 読	熟 対 書	書 読 音	書 読 音	類 読 書	読 書 対	四 対 熟	四 対 類	音 類 送	熟 類 四	読 対 書	読 同 書	送 読 書
補う	郷	敬う	裏	段	刻む	幼い	筋	難しい	厳しい	閉じる	奮う	激しい	困る	除く	若い	縦	装う	映す	延ばす	染まる	値	乱れる	傷む	勤める	善	窓	奏	展	模様	胸	異	割る	宅	源	垂れる
オギナウ→補う	オギナウ→補う	敬老→(消火)型	裏山→訓＋訓	方策＝手段	刻む→きざむ	オサナイ→幼い	道筋→訓＋訓	難易→(強弱)型	キビシイ→厳しい	帰郷→(消火)型	奮う→ふるう	激しさ→はげしさ	困る→困	除草→(消火)型	若気→訓＋音	縦横→(強弱)型	ソウチ→装置	映す→うつす	延びる→のびる	ソメル→染める	価格＝値段	ミダレル→乱れる	傷口→訓＋訓	勤務→(進行)型	善良→(進行)型	窓口→訓＋訓	合奏→音＋音	展示→てんじ	空模様→そらもよう	胸囲→(国旗)型	大同小イ→異	役割→音＋訓	帰宅→(消火)型	源泉→げんせん	タラス→垂らす
送 書 四	送 書 四	熟 書	音 対	類 音 対	送 書 読	送 読 書	音 書 読	熟 送 対	送 書 読	熟 送 読	読 書 対	送 読 熟	書 熟 読	四 対 類	熟 書 読	対 音 熟	書 同 読	書 読 同	書 読 書	送 読 書	熟 類 熟	送 書 対	音 読 熟	同 熟 読	熟 対 書	書 読 音	書 読 音	類 読 書	読 書 対	四 対 熟	四 対 類	音 類 送	熟 類 四	読 対 書	読 同 書	送 読 書
補う	郷	敬う	裏	段	刻む	幼い	筋	難しい	厳しい	閉じる	奮う	激しい	困る	除く	若い	縦	装う	映す	延びる	染まる	値	乱れる	傷む	勤める	善	窓	奏	展	模様	胸	異	割る	宅	源	垂れる
オギナウ→補う	オギナウ→補う	敬老→(消火)型	裏山→訓＋訓	方策＝手段	刻む→きざむ	オサナイ→幼い	道筋→訓＋訓	難易→(強弱)型	キビシイ→厳しい	帰郷→(消火)型	奮う→ふるう	激しさ→はげしさ	困る→困	除草→(消火)型	若気→訓＋音	縦横→(強弱)型	ソウチ→装置	映す→うつす	延びる→のびる	ソメル→染める	価格＝値段	ミダレル→乱れる	傷口→訓＋訓	勤務→(進行)型	善良→(進行)型	窓口→訓＋訓	合奏→音＋音	展示→てんじ	空模様→そらもよう	胸囲→(国旗)型	大同小イ→異	役割→音＋訓	帰宅→(消火)型	源泉→げんせん	タラス→垂らす

37	38	39	40	部首のまちがい		読みまちがい		書きまちがい		書きまちがい																									
済	蔵	座	射	警	敬	敬	尊	拾	捨	千	干																								
71.5%	71.5%	70.8%	70.8%																																
同 読 書	同 読 書	四 部 書	読 同 四																																
スむ→済む	スます→済ます	ザ席指定→座	イる→射る	敬の部首は攵（のぶん）だが、敬に言を加えた警の部首は言（げん）。警には、さとす・注意するという字義があり、言葉に関連している。部首は意味が優先する。漢字の形にとらわれずに、漢字の意味に近い部首を選ぼう。		尊敬は、似た意味の漢字から構成される熟語だが、それぞれ訓読みすると尊ぶ「とうと・ぶ」（→価値を認めて大切にする）、敬う「うやま・う」（→上位のものとして礼をつくす）。ともにうやうやしさを示す。		「す・てる」は捨てる、「ひろ・う」は拾う。取捨「しゅしゃ」（→必要なものを選んで不要なものを捨てること）、拾得「しゅうとく」（→落とし物を拾うこと）などが出題される。それぞれの漢字のパーツに着目して、《土》に捨てる、《一》つ拾うと覚えよう。		干す「ほ・す」は、千と書きまちがえやすい。干の筆順は、一画目を左から右に水平に書く。千は、一画目を右から左下へななめに書く。																																	
同 読 書	同 読 書	四 部 書	読 同 四																																
スます→済ます	チョゾウ→貯蔵	座→広	条件反シャ→射																																

出題形式アイコンの見方

読 漢字の読み　書 漢字の書き取り　四 四字熟語　対 対義語　類 類義語　送 送り仮名　同 同音・同訓異字　部 部首・部首名　熟 熟語の構成　音 音と訓

※「漢字検定」「漢検」は、公益財団法人 日本漢字能力検定協会の登録商標です。